



ー 地域で活躍する人材の育成 ー

今月は、福島県の磐城農業高等学校の温室を紹介します。

近年、東北地域では大規模な温室やハウスの建設が増え、施設園芸の先進化が進んでいます。磐城農業高等学校では、「地域の先進的・効率的な農業の発展に寄与できる実践志向の農業人材育成」をコンセプトとして、生徒さん達が卒業後、地域の先進的な農業現場で即戦力となっていけるよう、先進農業技術を学ぶ教育環境の充実を進めています。

その一環として、老朽化の進んでいたガラス温室を太陽光型植物工場へ建て替える際、大仙では最先端の大規模温室の設備仕様を盛り込んだ多連棟型温室を提案し、昨年10月竣工を迎えました。

竣工後、栽培管理講習として、日頃千葉研究農場でトマトの栽培を行っている、トマト便りのかわむーこと河村が学校へ伺い、栽培技術の指導を行っています。播種や植付けなどの実習に立ち会い、トマト生産における様々な作業手順や栽培時の管理方法などを教えています。生徒さんは積極的な姿勢で話を聞き、いつも賑やかに講習が行われているそうです。

これから多くの生徒の皆さんが、弊社の温室でトマトやホウレンソウの栽培技術を学び、習得していくことを思うと感慨深く思います。ぜひ、地域や日本の農業で活躍する生産者さんになってほしいですね。

物件プロフィール

- ・福島県立磐城農業高等学校
- ・作物：トマト、ホウレンソウ
- ・2020年10月に大仙多連棟型ガラス温室192m²を建設



太陽光型植物工場外観
(多連棟型ハウス)



大仙社員による研修風景



今年は例年よりも桜の開花が早く、体感だけでなく目でも春を感じられる季節となりました。千葉農場では春作の1段目が色づき始め、今号のランナーが配信される頃には収穫が始まっていると思われます。

桜の開花やトマトの生育が温度によって決まるということを知ったことがある方も多いかと思います。千葉農場ではトマトの生育に合わせた作業予定を作成するため、植物の生育において重要な指標である積算温度を反映させてスケジュールを立てています。積算温度とは、ある期間の日平均気温を足し合わせた温度で、トマトの収穫開始となる目安の積算温度は開花から1,100℃前後と言われています。最近はいくつ日も暖かい日が多いので、作業の予定が生育速度からずれないように、頻りに気温をチェックするようにしています。日平均気温は日ごと、年ごとに異なるため、毎回積算温度を計算するのは少し大変ですが、開花開始日や収穫開始日などを記録し、定期的に栽培を振り返るよい機会となっています。

【実際に計算してみると…?】

写真左は3月19日の果実の様子です。積算温度を計算してみると約1,020℃、直近の日平均気温で考えると、あと4日程度で収穫できる熟度になると予想されます。実際にその4日後に同じ果房を見てみると、1果目が赤く色づいていました(写真右)。この日までの積算温度は約1,090℃、実際のトマトも収穫間近となり始めているので、積算温度による生育速度の算定がおおよそ正しい値になることを改めて実感できる結果となりました。



3月19日撮影



3月23日撮影



アンテナ掲示板



「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」6次公募の申請が始まります。設備投資等を支援する中小企業・小規模事業者様向けの補助金で、下記日程にて公募が行われます。

【公募期間】

申請受付：令和3年4月15日(木) 17時～
応募締切：令和3年5月13日(金) 17時(6次締切)

また、「新特別枠」として低感染リスク型ビジネス枠(新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、社会経済の変化に対応したビジネスモデルへの転換に向けた投資)も設けられています。公募要領等につきましては下記URLよりご確認ください。

- ◆ ものづくり補助事業公式ホームページ
「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」公募要領
<http://portal.monodukuri-hojo.jp/about.html>



ものづくり補助金HP

ランナー vol.42 2021年4月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 温室事業部
〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8
[TEL]0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※ メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。